

1 この科目の構成について

教 科	芸術科	科 目	専攻別造形演習	単 位	7単位
対象コース	美術コース	対象クラス	3年8・9組		
使用教科書	日本文教出版 高校生の美術3				
使用副教材					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
2年次後半よりデザイン系と絵画系（ファインアート）に専攻を分けて実習してきた。デザイン系はグラフィック、プロダクトなど各種のデザインを学び、絵画系（ファインアート）は油彩、日本画、彫刻、版画など各種の純粋芸術の分野を学ぶ。 主に卒業制作と受験課題を各自の専攻で制作する。 また12月に行う作品展を通して、美術展の企画と運営を学び、作品展示に関する基本的な知識を得る。	
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
①専攻別デッサン 前期は広い分野で応用出来る基礎的なデッサンを中心として制作。 後期より各自の実技試験に合わせて個別課題を制作する。 石膏デッサン、静物デッサン、自画像デッサン、手のデッサン、想定デッサン、構成デッサン、平面構成、静物油彩、自画像油彩、配布モチーフと言葉のイメージをテーマにした油彩、静物着彩等 ②スケッチ（画材自由） B3画用紙水張りパネルに水彩、アクリルガッシュまたはアクリルガッシュを、専攻別に選択して描く ③卒業制作 各自の専攻分野で作品を1点～2点制作。 規定：油彩F50以上、CG・アクリルB1以上、日本画F30以上、着彩B1以上、映像5分以上	
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
（1）学校 主に授業時間内で実習し、放課後等、課外時間も有効に使って学習する。 また受験対策として放課後を毎日実施する。更に春期講習、夏期講習、年度末講習の実施によって実力をつける。	

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何を使って評価するのか—
完成した作品によって評価する。 技術的、創造的に優れた作品を評価する他、完成するまでの課程、取り組みの姿勢を見る。各自の力量に合わせた努力度、熱心さ等を加味し、平常点として評価に加える。	
評価における定期考査の割合	
0%	

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
（1）関心・意欲・態度 課題に取り組む意欲、態度 （2）思考・判断 画面全体を構成する総合的判断力、イメージを作る創造力。 （3）技能・表現 構成力、色彩感覚、表現力、描写力。 （4）知識・理解 各種素材、画材に対する知識の理解度。	

5 この科目の学習計画について

年間学習計画				—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目		学 習 の 内 容				関	思	技	知
1	5	スケッチ実習		・「八戸市内の風景を描く」約10時間 - 画材：F8画用紙パネル水張り - 透明水彩またはアクリルガッシュの選択				●	●	●	●
2	8	専攻別課題デッサン		・「専攻別課題デッサン」16時間 - デザイン系 木炭氏大画用紙に鉛筆 - 静物デッサン - 絵画系 木炭紙に木炭または木炭紙大画用紙に鉛筆 - 静物セットモチーフ - 同時に卒業制作のエスキースチェック				●	●	●	●
	9	卒業制作①		・「卒業生制作①」45時間 - 各自の専攻分野で作品を1点～2点制作。 - 平面作品の他、映像作品、立体作品など多様な領域で制作する。 - 規定： - 油彩F50以上、CG・アクリルB1以上、日本画F30以上 - 着彩B1以上、映像5分以上 - 画材：油彩、日本画、CG、透明水彩、アクリルガッシュなど				●	●	●	●
	10	美術系大学受験対策課題 美大受験生以外：卒業制作②		・「美術系大学受験対策課題・卒業制作②」102時間 - 個別課題 - 授業と放課後講習を使って制作 - 前期：基礎的デッサン中心 - 後期：実技試験に合わせた個別課題 - 石膏デッサン、静物デッサン、自画像デッサン、手のデッサン、 - 想定デッサン、構成デッサン、平面構成、静物油彩、自画像油彩、 - 配布モチーフと言葉のイメージをテーマにした油彩、静物着彩等				●	●	●	●
				・「卒業制作②」 - 卒業制作の2点目。 - 道徳教育を実施：作品展に向けた制作をとおり、芸術を通しての外部への働きかけを学び、私的な制作から、公的な制作への転換と、 - 芸術の果たす社会での役割を学ぶ。				●	●	●	●
	12	地域活性化絵本作り 受験個別課題 ※並行して実施		・「地域活性化絵本作り」31時間 - 地域を活性化させるためのストーリーを作り、絵本として提案する課題。八戸市を中心とした県南地区で考案する。グループを作って作業し、パワーポイントを使ってプレゼンテーションを行う。 - 問題発見能力、解決能力、企画力、表現力を養い、グループ制作により、コミュニケーション能力を向上させる。 ・「受験個別課題」 - 一般入試に対応した個別課題制作 絵本作りに関して、道徳教育を実施。地域に関わる民話や伝説、観光資源、名産物などを調べ、地元地域を愛する心をはぐくむ。また、地域に貢献する事の大切さを学び、地域と協調し共に発展していく精神を養う。				●	●	●	●

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知

